

“観察する”では、災害が発生する恐れがある箇所を『防災カルテ』で整理し、斜面に変状がないかを定期的に確認していく、大雨や地震の後にも変状がないか確認します。もし変状があった場合には、専門家の意見もいただきながら、対策が必要かどうか検討します。



防災カルテ



防災カルテ



防災点検の様子

カルテがあるなんて、人間と同じなのね!



Q “対策”が必要なところはどうするの?

A 想定される災害に適した工法を選んで工事を行い、危険度の高い箇所から優先的に対応しているんじゃよ。



落石防止ネット



法枠



地盤アンカー



砂防堰堤

検討の結果、対策が必要と判断した場合には“対策する”的ステップに移行し、想定される災害に適した工法を選定し、工事を実施しています。道路沿いの斜面に張ってあるネットを見たことはありませんか?あれは『落石防止ネット』という、斜面からの落石を防ぐ役割をしてくれています。そのほかにも、『法枠(のりわく)』や『地盤アンカー』、『砂防堰堤(えんてい)』など、想定される災害に応じていろいろな工法があります。路線によっては箇所が多いうえに大規模な工事になることも多く、完成までに時間がかかることもあるため、工事は危険度の高い箇所から優先的に実施しています。

細かい点検のおかげで、私たちも安心してドライブできます!



職員からみなさんへのメッセージ

静岡国道事務所の管理第二課で点検を担当している木村です。山や谷を走り抜けるドライブは気持ち良いですよね。皆さんに安心して道路を利用していただくために、少しの変化も見逃さないよう目を光らせております。沿道の斜面で災害が起こると交通に多大な影響をもたらすため、大雨や地震によって起こる災害を一つでも未然に防げるよう引き続き点検していきますので、ご理解のほどよろしくお願ひいたします。



POINT
大雨や地震による災害を未然に防ぐため、斜面の変化を注意深く点検しています!

フォロワー
3万2千人突破!!

問い合わせ先

国土交通省 中部地方整備局 静岡国道事務所
〒420-0054 静岡県静岡市葵区南安倍2丁目8-1
TEL.054-250-8900 <https://www.cbr.mlit.go.jp/shizukoku/>

静岡県中・東部の国道1号、52号、139号の防災情報・道路情報を公式Xで発信中!



今回のテーマ

『防災点検』

山の斜面が崩れて道路が通れなくなると困るなあ。

道路の安全ってどうやって守られているんだろう?

『防災点検』について『国土交通省 中部地方整備局 静岡国道事務所』に聞いてみました。

コッコ博士
教えてください!



キュリヤース
すーちゃん

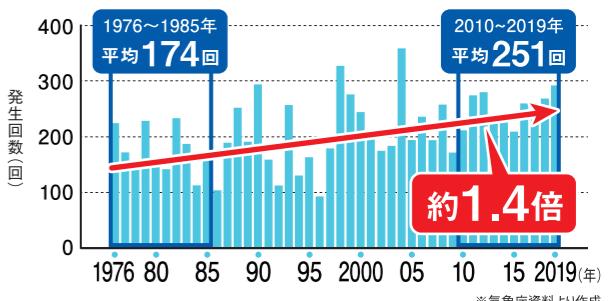
Q 道路の『防災点検』って何?

A 災害発生を未然に防ぐため、“見つける”、“観察する”、“対策する”的3つのステップで安全を確保する取り組みのことじゃ。



近年、短時間での集中豪雨の増加に伴い、災害が頻発化しています。国道52号でも、令和4年台風第15号により土砂流出が生じ、通行規制など多大な被害を受けました。道路の『防災点検』とは、沿道の斜面を中心にそのような災害発生を未然に防止するための点検です。大雨などにより道路の周辺の山や斜面が崩れたり、地震などにより落石が生じたりしないように、“見つける”、“観察する”、“対策する”的3つのステップで災害を防ぎ、みなさんに安心して道路を利用してもらえるよう努めています。

1時間降水量50ミリ以上の年間発生回数
(アメダス1,000地点あたり)



国道52号 台風第15号による土砂流出と対策の様子



被害前



被害直後



対策後

Q 『防災点検』ではどんなことをしているの?

A 過去の事例やデータから危険箇所を“見つけ”、『防災カルテ』で定期的に状況を“観察”し、必要に応じて専門家の意見を聞き“対策”を検討しているんじゃ。

“見つける”では、過去の災害事例から着目すべき災害の特徴を学び、災害が発生する恐れのあるところを見逃さないよう日々点検・調査しています。最近では、航空レーザ測量等によって得られた詳細な『3次元点群データ』を用いて、斜面の災害危険箇所を抽出できるようになっています。静岡県では、『VIRTUAL SHIZUOKA(バーチャルしづおか)』という、県土全体をレーザスキャナ等で広範囲に測量し『3次元点群データ』を取得・蓄積し、オープンデータ化する取組みを進めていて、専用のソフトを使わざとも、誰でも簡単にWEB上でご覧いただけるようになっています。気になる方はぜひチェックしてみてください!



『VIRTUAL SHIZUOKA(バーチャルしづおか)』
<https://virtualshizuokaproject.my.canva.site/>

